

## 様式第1の2（第1条の6関係）

1 危険物 仮貯蔵 承認申請書  
仮取扱い

3 殿		2 年 月 日	
申請者 4		住所 (電話 )	
氏名			
5 危険物の所有者、管理者又は占有者	住所	電話 ( )	
	氏名		
6 仮貯蔵・仮取扱いの場所	所在地・名称		
7 危険物の類、品名及び最大数量	指定数量の倍数	倍	
8 仮貯蔵・仮取扱いの方法			
9 仮貯蔵・仮取扱いの期間	年 月 日から 年 月 日まで 日間		
10 管理の状況 (消火設備の設置状況を含む)			
11 現場管理責任者	住所	緊急連絡先 ( )	
	氏名	【危険物取扱者免状：有（種類： ）・無】	
12 仮貯蔵・仮取扱いの理由及び期間経過後の処理			
その他必要事項			
※ 受付欄	※ 経過欄	※ 手数料欄	
	承認年月日 承認番号		

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。  
 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。  
 3 案内図、配置図、平面図、構造図その他関係書類を添付すること。  
 4 ※印の欄は、記入しないこと。

1. 仮貯蔵、仮取扱いのいずれか一方しか行わない場合は、実施しない申請を二重線で抹消する。
2. 申請日（申請書提出日）を記入する。
3. あて先は、「東京消防庁 ○○消防署長」と記入する。
4. 「申請者」欄は、申請者が法人の場合は、その名称、代表者氏名及び事務所の所在地とする。
5. 「危険物の所有者、管理者又は占有者」は仮貯蔵、仮取扱いをする危険物の所有者、管理者又は占有者について記入する。
6. 「仮貯蔵・仮取扱いの場所」は、仮貯蔵、仮取扱いをする所在地を記入する。
7. 「危険物の類、品名及び最大数量」は、法別表に定める類、品名、仮貯蔵・仮取扱いをする最大数量を記入する。品名が多いときは、その品名を別紙として添付する。
8. 「仮貯蔵・仮取扱いの方法」欄は、どのような貯蔵、取扱い方法をするのか記入し、現場周辺に設けるさく等の概要も記入する。
9. 「仮貯蔵・仮取扱いの期間」欄は、年月日を記入するが、その期間は10日以内である。
10. 「管理の状況」欄は、設置する消火設備や巡視状況を記入する。
11. 「現場管理責任者」欄は、住所・氏名・緊急連絡先を記入し、危険物取扱者免状の有無に○印を付け、有の場合は免状の種類を「甲種」または、「乙種○類」と記入する。
12. 「仮貯蔵・仮取扱いをする理由及び期間経過後の処理」欄は、理由と期間経過後の処理を簡記する。